



日薬連

フロン HFC使用実績・破壊・廃棄処理調査、
HFC-MDI DPI販売量調査

2023年度

2023年度使用実績詳細



HFC 使用実績・破壊・廃棄処理集計結果（各社集計，トン）

2023年1～12月

日薬連フロン検討部会調査

販売者	フロンの種類	HFC入手	製造 使用量	製造時 回収破壊	製造時 漏出	製品 製造量	製品輸入量	国内 出荷量	製品破壊 処理	製品輸出	2023年の使用に よる排出量	2023年の 総排出量	製品 製造量	製品 輸入量
Total	HFA-134a	0.00	0.88	0.00	0.13	0.75	29.35	-	0.06	0.00	30.79	30.92	0.75	30.84
Total	HFA-227ea	20.70	19.78	0.04	0.18	19.56	33.12	-	0.00	0.00	52.92	53.10	19.76	33.39
Total	HFA	20.70	20.66	0.04	0.31	20.31	62.47	-	0.06	0.00	83.70	84.01	20.51	64.23

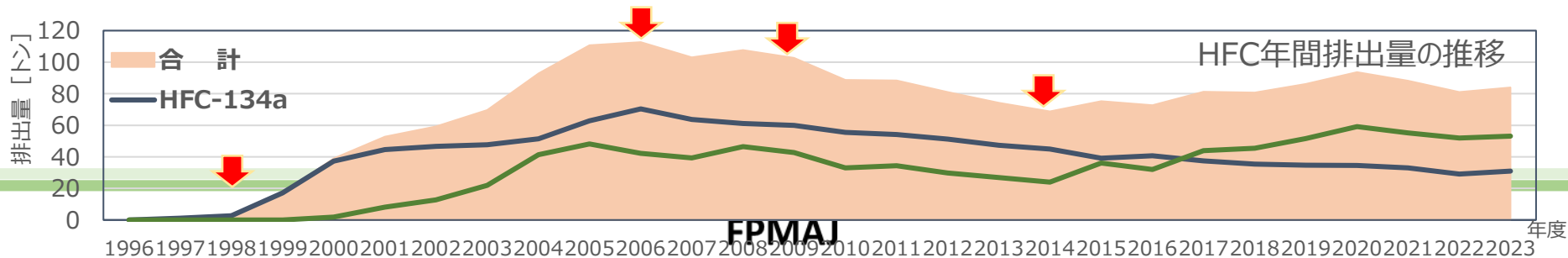
(4)=(2)-(3)-(5), (10)=((5)+(6)+前年(5)+前年(6)) /2-(8), (11)=(10)+(4)-(9)

HFC排出量の推移 2023年度 排出実績84 トン 目標(150トン)を達成

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
HFC-134a [トン]	40.72	37.38	35.35	34.66	34.48	33.06	29.15	30.92
HFC-227ea [トン]	32.05	43.94	45.41	51.54	59.16	55.15	51.87	53.10
合計 [トン]	72.77	81.32	80.76	86.19	93.64	88.21	81.02	84.01
目標値 [トン]	180			150				

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
HFC-134a [トン]	70.4	63.7	61.2	60	55.5	54.1	51.3	47.3	44.91	39.15
HFC-227ea [トン]	42.3	39.3	46.4	42.8	33.1	34.3	29.8	26.9	23.93	36.08
合計 [トン]	112.7	103	107.6	102.8	88.7	88.4	81.1	74.2	68.84	75.22
目標値 [トン]	180			150					110	

年度	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
HFC-134a [トン]	0	1.1	2.6	17.1	37.2	44.6	46.6	47.6	51.4	62.8
HFC-227ea [トン]	0	0	0	0	1.8	8.2	12.7	22	41.4	48.1
合計 [トン]	0	1.1	2.6	17.1	39	52.8	59.3	69.6	92.8	110.8
目標値 [トン]			405							

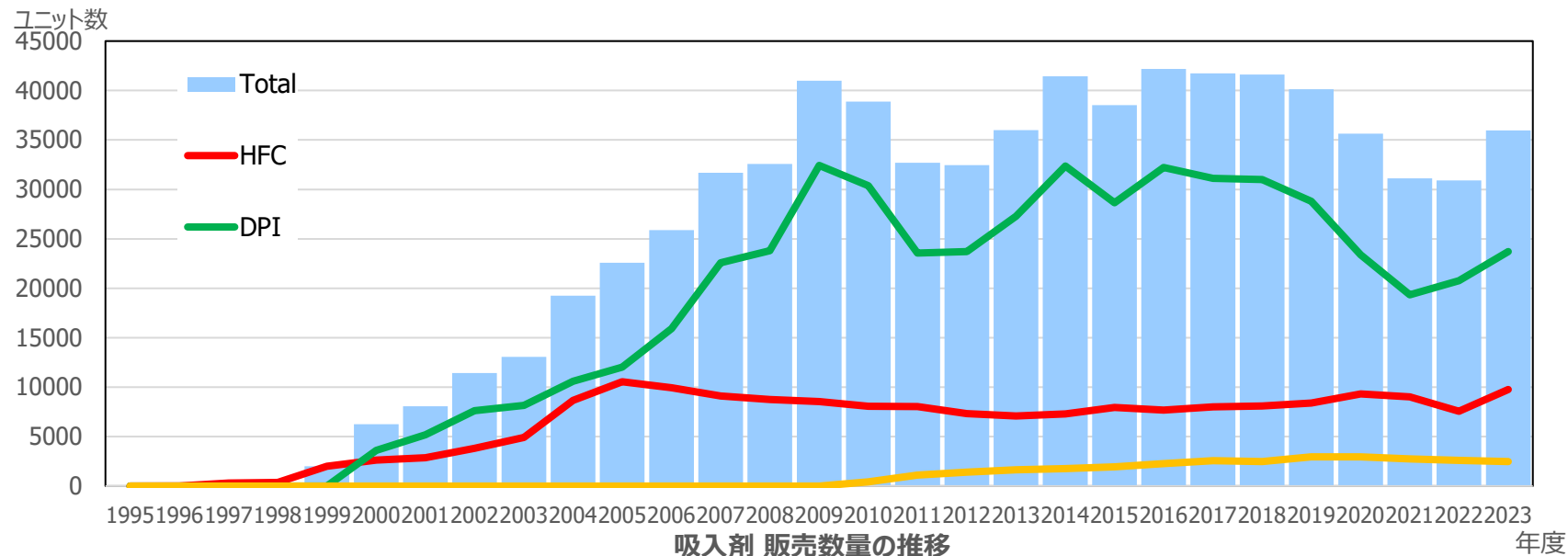


吸入製剤処方数の年次推移（国内／ユニット換算）

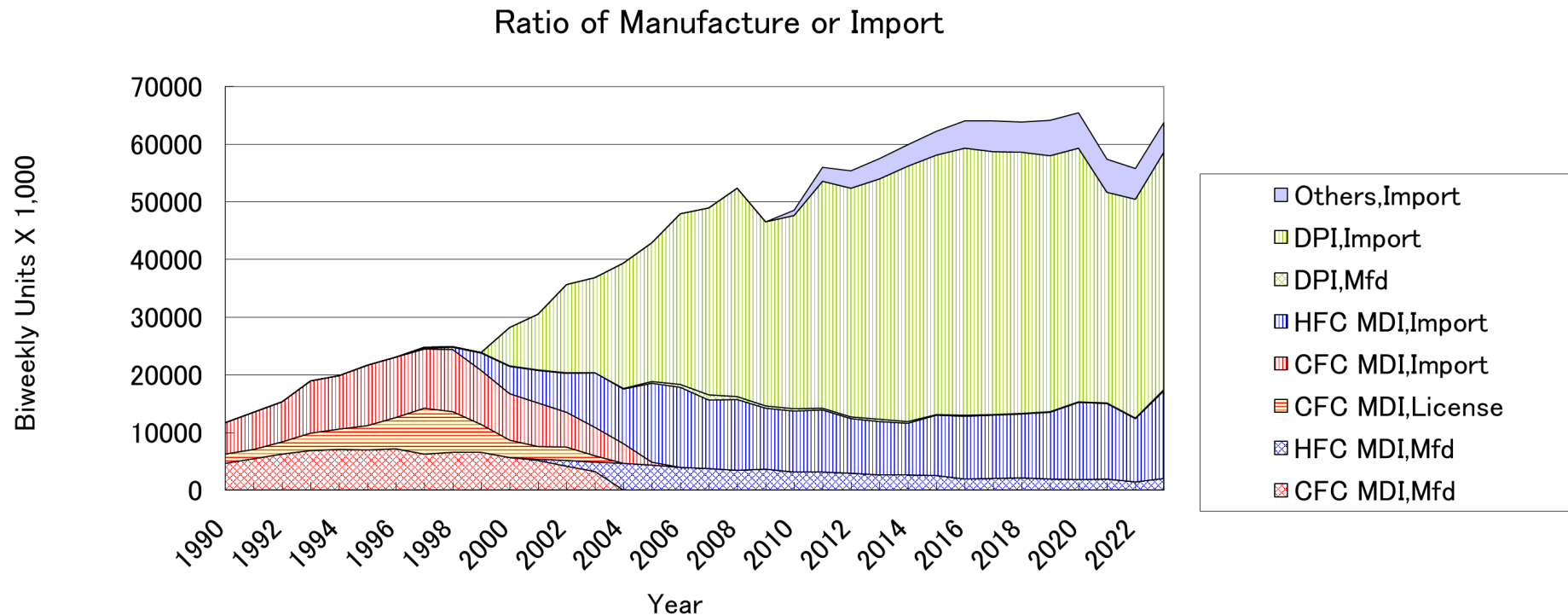


2000年以降、高齢化、COPD患者増に伴い、販売数も増加傾向

2020年調査ではコロナ禍の影響で処方数の減少がみられるも、コロナウイルス分類引き下げの2022年度以降は再増加しており、今後の動向を継続して注視



2023年度販売量調査（処方週換算／割合）



HFC国内排出量の今後の見通し



日薬連

H F C排出量の増加要因

- ・喘息及びC O P D（慢性閉塞性肺疾患）の患者数が徐々に増加
- ・喘息治療ガイドライン等により，吸入ステロイド剤の使用が公的に推奨
- ・新規H F C－M D Iの開発・上市

H F C排出量の減少要因

- ・H F Cを使用しないD P I等の開発・普及
（但し、D P Iは自己の吸気で吸入するため，D P I を使用できない患者さんには今後もM D Iが必要）
- ・製剤改良による噴射剤使用量の減少（高濃度、配合剤）



緩やかな増加傾向で推移するものと考えられる。



[フロン排出抑制法の令和2年度の施行状況](#)

[フロン排出抑制法の令和3年度の施行状況](#)

[フロン排出抑制法の令和4年度の施行状況](#)

[フロン排出抑制法に基づく令和4年度のフロン類の再生量及び破壊](#)